

岡大医歯薬総第29号  
令和2年7月22日

各大学医学部長 殿  
各医科大学長 殿  
各医学研究機関の長 殿

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長  
大塚 愛 二  
(公印省略)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻  
腫瘍制御学講座(がん関連研究分野(分野名未定))の  
教授候補者の公募について(依頼)

本研究科では、腫瘍制御学講座(腫瘍ウイルス学分野(現行名称))加藤宣之教授の退職に伴い、担当教授の公募を行うこととなりました。

今回募集する教授には、がん関連研究分野(別紙資料の研究内容を参照ください。なお、分野名については、着任後に相応しい名称とすることができます。)に関する新境地を拓く独創的かつ世界的に卓越した教育研究を推進できる人材を広く求めております。当該領域における先端的で社会の変革を目指しうる研究の推進と大学院生の研究指導のほか、博士及び修士課程並びに学部の授業を担当していただきます。

また、関連分野としては、生体機能再生・再建学講座細胞生物学分野(阪口政清教授)及び腫瘍制御学講座免疫学分野(鵜殿平一郎教授)があります。

つきましては、貴学・貴学部・貴研究機関及び関係機関で適任者がいらっしゃいましたら、令和2年9月1日(火)17時(必着)までに別紙に示す必要書類を添えて御推薦くださるようお願いいたします。

なお、提出書類のうち、履歴書、研究業績書、科学研究費補助金・助成金等の交付状況は、原稿ファイル(Word等:写真・押印不要)を電子媒体(CD-R, USBメモリ等)に保存のうえ、併せて提出してください。

申請関係書類は、本学大学院医歯薬学総合研究科のホームページの他、UMINとJREC-INのホームページにも公開しています。

岡山大学では男女共同参画を推進し、女性教員をサポートしています。女性の積極的な応募を歓迎します。

別紙資料（令和2年7月1日時点）

雇用：年俸制（任期の定めなし）

教員ポスト：教授1（今回募集），准教授1（在職中），助教2（在職中）

岡山大学医学部共同実験室を利用できます。詳細は、次のサイトを参照下さい。  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/crl/>

教育内容：

研究人材の育成に熱意のある方を求めています。大学院博士課程の腫瘍関連の専門基礎科目又は専門科目，及び医学科3年次「腫瘍学（オムニバス科目）」を担当していただきます。他に，医学科3年次「基礎病態演習」及び「医学研究インターンシップ」等を分担していただきます。入試・入試広報，学位審査，大学院等の腫瘍関連の学位プログラムの策定（ポリシー策定，カリキュラム編成等）を統括いただく場合があります。

研究内容：

本分野の沿革は旧医学部附属癌源研究施設生化学研究部門（1963-1990）に遡り，旧分子細胞医学研究施設病態分子生物学部門（1991-2000），分子生物学分野，続いて腫瘍ウイルス学分野と引き継がれ，時代の変遷とともに特色ある生命科学的研究を推進してきました。そして今回，岡山大学がん研究コンソーシアム構想を念頭に，従前の既成概念に束縛されることのない自由かつ独創的ながん研究を推進すべきという方針を新たに打ち立てました。具体的研究内容の例として，がん組織・微小環境，腫瘍血管，がんと代謝，エクソソーム等を介した細胞間ネットワークなどが挙げられますが，これだけに限定するものではありません。ライフサイエンスを牽引する優れた解析技術，例えば1細胞解析技術（遺伝子発現と調節，タンパク質，代謝産物）による網羅的な生態分子解析技術を駆使した，生体及びがん微小環境の統合的理解を可能にするようながん研究なども対象となります。上記のような領域において世界的に卓越した業績を有し，着任後も優れて斬新な発想に基づくがんに関連した生命科学的研究を推進できる人材を求めています。また，がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院と連携し，がん予防・治療法の開発や臨床研究及び介入試験等を通して，岡山大学の基礎及び臨床研究全般の発展に寄与する等も期待されます。

管理運営業務：教員活動評価，法人評価，分野別認証評価，各種委員会運営など。

## 教授候補者応募に必要な書類

### 1 提出書類

- ① 推薦書 (様式任意)
  - ② 履歴書 1部
    - \* 別添の記入例を参考にして、印字で作成してください。
  - ③ 教育及びその他活動実績一覧 1部
    - \* 該当する項目のある場合は、別添の記入例を参考に記入してください。
  - ④ 研究に関する人材育成の概要を記載した書類 1部
    - \* 大学院教育における研究人材の指導・育成に関して1,000字程度の概要(実績並びに人材育成に関する抱負などについて具体的に述べたもの)を提出してください。
  - ⑤ 研究業績書 1部
    - \* 別添の記入例を参考にして、印字で作成してください。
    - \* 投稿中の論文で掲載証明のないものは、除いてください。
    - \* 学術論文、著書、その他(国内の特別講演及びシンポジウム等並びに国際学会講演)に区分し、それぞれ発表年順(最近のものから)に記入してください。区分ごとに一連番号を付し、主要論文20編については赤○印を付すとともに、corresponding authorである場合には、一連番号の右側に赤\*を付してください。また、国際共著論文(異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文)の場合には、一連番号にアンダーラインをひいてください。h-indexを欧文論文の先頭に朱書きしてください。
  - ⑥ 主要論文(原著及び総説)20編の別刷各1部とそのリスト1部
    - \* 前記の区分及び番号に対比させ、「論文-5」等を付してください。
    - \* 主要論文20編については、被引用数(Web of ScienceやScopusなどのデータベースを明記)を付したリストを作成し、それぞれどのように関与したかを記載(100~200字程度)し提出してください。
  - ⑦ 研究概要を記載した書類 1部
    - \* 研究に関して3,000字以内の概要(研究実績の概要、国際共同研究、及びトランスレショナルリサーチ等に関する概況と今後の抱負などについて具体的に述べたもの)を提出してください。
  - ⑧ 科学研究費補助金・助成金等の交付状況 1部
    - \* 所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費(奨学寄付金は除く。)を含みます。別添の記入例を参考にしてください。
  - ⑨ 特許の申請・取得状況 1部
    - \* 該当する項目のある場合は、別添の記入例を参考に記入してください。
  - ⑩ 学位論文の課題名、授与年月日及び授与大学名を記載した書類 1部
  - ⑪ 学位指導論文目録 1部
- 注) ②~⑤, ⑦~⑪については、A4版用紙縦に横書きで作成してください。

### 2 書類提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等総務課総務担当総括主査気付

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長

大塚 愛 二

注) 提出は書留で郵送するものとし、表書に「腫瘍制御学講座 がん関連研究分野教授応募書類在中」と朱書きで併記願います。

なお、連絡先住所、電話番号、メールアドレス等をお知らせ願います。

### 3 その他

提出書類のうち、②履歴書、⑤研究業績書、⑧科学研究費補助金・助成金等の交付状況は、原稿ファイル(Word等:写真・押印不要)を電子媒体(CD-R,USBメモリ等)に保存のうえ、併せて提出してください。

応募書類は、採用審査及び採用手続きの目的のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。また、選考終了後は、採用手続きに必要とするものを除き、速やかに返却します。

(記入例)

# 履 歴 書

氏名 (ふりがな) : おか やま はな こ  
 氏名 (英字表記) : Hanako Okayama  
 性別 : 女  
 国籍 : ○○国  
 生年月日 (年齢) : 昭和○○年○○月○○日 (○○歳)  
 現住所 : ○○県○○市○○町○-○-○  
 勤務先 : 〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○-○-○  
 ○○大学○○学部○○分野 (電話番号) ○○○-○○○-○○○○  
 (メールアドレス) ○○@○○

カラー写真

縦4cm×横3cm  
(本人胸上半身)

注) 通常お使いの表記をお願いします。

## 学 歴

平成4年3月 ○○高等学校卒業  
 平成4年4月 ○○大学○学部入学  
 平成10年3月 ○○大学○学部卒業  
 平成10年4月 ○○大学大学院○学研究科 (○○学専攻) 入学  
 平成14年3月 ○○大学大学院○学研究科 (○○学専攻) 修了

注) 高等学校卒業から歴年順に記入してください。

## 資 格・免 許

平成10年4月 医師免許取得 (第○○○○○○○号)  
 平成14年3月 博士 (○学) (○○大学)  
 平成16年9月 ○○学会認定 (専門医) (第○○○号)

## 職 歴

平成14年4月 ○○大学医学部研究生 (○○講座・分野) 研  
 平成15年4月 ○○大学医学部助手 (○○講座・分野) 教・研  
 平成23年4月 ○○大学医学部講師 (○○講座・分野) 教・研  
 平成25年4月 ○○研究所プロジェクトリーダー (○○研究分野) 研  
 平成27年3月 " 退職  
 平成27年4月 ○○大学医学部准教授 (○○講座・分野) 教・研 現在に至る。

注) 1. 職歴に空白期間がある場合は必ず明記し、その説明を付記してください。  
 2. 必要教育歴又は研究歴は10年ですので、教育歴の場合は「教」、研究歴の場合は「研」と付記してください。

## 海外渡航歴

平16. 9. 1~平18. 8. 21 ○○国○○大学○○研究室 (客員研究員) ~研修渡航  
 平20. 5. 15~平21. 3. 14 文部科学省在外研究員として○○国○○大学○○研究室  
 (客員助教授) ~出張

注) 2か月以上のものとし、必ず、受入れ先の国名、機関名、身分 (職名) を明記してください。

## 学会その他における活動等

○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会  
 平20. 4~平24. 3 ○○学会評議員  
 平20. 4~現在 ○○学会評議員  
 平20. 4~現在 ○○学会理事  
 平23. 4~平28. 3 ○○省○○審議会委員  
 平26. 4~平31. 3 ○○県○○審議会委員

注) 所属する学会名を記入し、役員については、その期間を付記してください。

賞 罰 : 平成18年4月 ○○賞受賞  
 罰なし

注) 「賞」「罰 (刑事罰・懲戒処分)」とも有無を明記ください。ある場合は具体的内容を、無い場合は「罰なし」等と記載してください。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏名 (自筆)

印

(教育及びその他活動実績一覧の記入例)

教育及びその他活動実績一覧

1. 教育活動実績の一覧 (記入例)

項 目	期 間 等	備 考
1) 授業担当等		
① ○○大学○○学部 「○○○○学」(講義○時間, 実習○時間)	○○年○○月～現在	
② ○○大学大学院医学研究科 「○○学演習」 ○単位 「○○○○学」 ○単位	○○年○○月～現在 ○○年○○月～現在	
2) 他大学・他学部等の非常勤講師		
①○○大学 ○○学部 「○○○○学」年間○時間の集中講義	○○年○○月～現在	
3) 他大学の特別講義		
①○○大学○○学部○○講座 特別講義「○○について」	○○年○○月	
4) 委員等		
○○大学奨学生等選考委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部カリキュラム委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部アカデミックアドバイザー等	○○年○○月～○○年○○月	
5) 国際交流/学生支援		
○○国留学生○○研修受入れ (○人)	○○年○○月～○○年○○月	
6) 学生の課外活動指導		
○○大学学友会 ○○部顧問	○○年○○月～現在	

注1) 教育実績には、これまで担当した講義・実習・演習・セミナー等のほか、カリキュラム策定委員・入試対策委員等の実績を、記入例に基づき記入して下さい。

注2) 項目ごとの記載数が多い場合は、内容が分かる簡単な説明を加えて、項目ごとに○外○件というようにまとめて記載して下さい。

注3) 備考欄には大学及び大学院等での講義・実習等において、学生による教員個人に対する評価の概略等関連事項があれば記入して下さい。

2. その他活動実績 (付記すべきものがあれば記載してください。)

# 研究業績書

令和 年 月 日  
氏名 (自筆) 印

## (学術論文) (欧文, 和文に区別してください。)

注) 原著論文, 総説, 症例報告及びその他に分けて, 番号 (一連番号), 著者名 (印刷順に全員連記し, 本人のところにはアンダーラインをひく。), 題目, 発表誌, 発行年 (西暦); 巻: 初頁-終頁, を年代順 (最近のものから) に次の例を参考にして記入してください。なお, 欧文論文掲載誌に Impact Factor (IF, 2019年版) が付されている場合, 併せて記入してください。主要論文20編については赤○印を付すとともに, corresponding author である場合には, 一連番号の右側に赤\*を付してください。また, 国際共著論文 (異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文) の場合には, 一連番号にアンダーラインをひいてください。h-index を欧文論文の先頭に朱書きしてください。

h-index:19

### 欧文記載例:

- ①\*Shikata E, Tushima K, Yamamoto M, Suzuki A, Okayama H. Evidence for the multistep nature of in vitro human epithelial cell carcinogenesis. Cancer Res. 2017; 50:5653-5657. IF: 9.122
- 2 Okayama H, Fujita J, Aaronson SA. Neoplastic conversion of human epidermal keratinocytes by adenovirus 12-SV40 virus and chemical carcinogens. Science. 2016; 232:385-388. IF: 37.205

### 和文記載例:

- 1 ○○○○, 岡山花子, ○○○○. ○○に関する研究. ○○学会雑誌, 1998; 3:189-211.

## (著書) (欧文, 和文に区別してください。)

注) 番号 (一連番号), 著者名 (印刷順に全員連記し, 本人のところにはアンダーラインをひく。), 題目 (共著又は分担の場合は, その区分を括弧がきで付記する。), 頁数, 発行所, 発行年 (西暦) を, 年代順 (最近のものから) に次の例を参考にして記入してください。

### 欧文記載例:

- 1 Okayama H. Drugs and foods from little-known plants. Harvard Univ. Press, Cambridge, MA, 2011
- 2 Okayama H, Shikata E, Tushima K. Views of cancer researchers on environmental mutagens. In "Environmental Mutagens and Carcinogens", ed. Sugimura T, Kondo S, Takebe H., pp. 3-20, University of Tokyo Press, Tokyo, 2008

### 和文記載例:

- 1 岡山花子: ○○に関する研究, ○○書房, 東京, 2011
- 2 ○○○○, ○○○○, 岡山花子: ○○○○○○に関する研究 (分担), 「生体時計」, ○○○○, ○○○○編, PP.15-25, ○○出版, 東京, 2009

## (その他)

注) 国内及び国際学会の特別講演及びシンポジウム等 (一般演題は除く。) について, 番号 (一連番号), 発表者 (本人のところにはアンダーラインをひく。), 題目, 学会, 開催地, 発表年 (西暦) を, 年代順 (最近のものから) に次の例を参考にして記入してください。

### 【国内学会】

- 1 岡山花子: 特別講演, 癌遺伝子, 第○回日本癌学会シンポジウム, 東京, ○○年
- 2

### 【国際学会】

- 1 Okayama H, Special lecture, Analysis of methylation in the c-myc gene, Symposium at the International Meeting of Cancer Prevention, Bangkok, Thai, 2012
- 2

(記入例)

## 科学研究費補助金・助成金等の交付状況

氏名(自筆)

印

補助金・助成金等(奨学寄付金は除く。)

- ・役割(代表・分担の別)の別に分類して、開始年度の順に記載すること。
- ・記載内容:研究期間(年度)、資金制度・研究費名(配分機関等名)、研究課題名(分担の場合は、研究代表者氏名・所属)、研究費(期間の受領額:千円)

<例:代表>

1. H26~H28, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究A(一般), ○○に関する○○的研究, 48,000千円
2. H29~R1, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C(一般), ○○に関する研究, 3,000千円

<例:分担>個人配分有り

1. H25~H27, 厚生労働科学研究費補助金(○○○研究事業), ○○に関する○○研究(代表:瀬戸次郎・○○大学), 分担研究者(人数, 役割分担:○○に関する解析), 研究費総額5,000千円, 分担額2,000千円

<例:分担>個人配分無し

1. H23~H25, ○○○医学振興助成金(○○財団), ○○に関する○○研究(代表:山陽花子・○○大学), 分担研究者(人数, 役割分担:○○に関する解析), 研究費総額5,000千円

注) 不足の場合はページを追加してください。





## 労働条件等について

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
腫瘍制御学講座がん関連研究分野（分野名未定）  
教授候補者の公募

業務内容	教育及び研究
契約期間	期間の定めなし
試用期間	試用期間あり（3か月）
就業場所	大学院医歯薬学総合研究科 （岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1）
就業時間	8:30～17:30
休憩時間	12:00～12:50, 13:50～14:00, 15:00～15:10, 16:10～16:15
休日	毎週土・日曜日, 国民の祝日, 12月29日～翌年の1月3日
時間外労働	原則としてなし 専門業務型裁量労働制により, 7時間45分働いたものとみなされます。
賃金	給与の額等は, 国立大学法人岡山大学年俸制適用職員給与規則の定めるところにより, 本人の学歴, 免許・資格, 職務経験等を勘案して決定されます。
加入保険	雇用保険, 労災保険 国家公務員共済組合の年金・健康保険
募集者の氏名又は名称	国立大学法人岡山大学